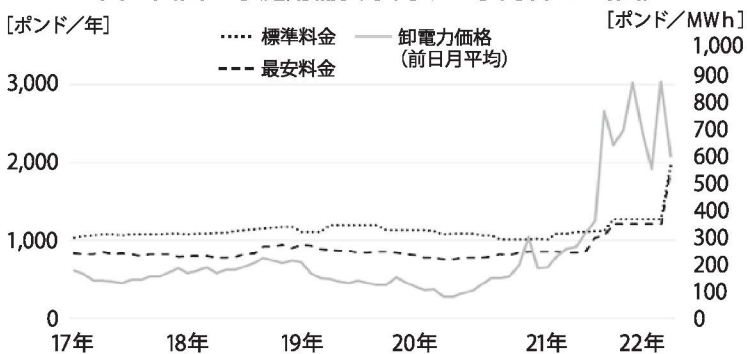


図 英国の家庭用需要家向けの小売料金の推移



注1: 標準料金は2019年より上限価格規制が適用されており、卸電力価格の反映には数カ月タイムラグが生じるが、市場連動型料金は小売事業者の経営判断で卸電力価格が反映される。

注2: 各料金は大手電力会社と新電力の平均値を示している。

出典: Ofgem Data Portal を参照して電力中央研究所にて作成

顧客ニーズへの対応は新たな料金メニューを創出する重要な要素であるが、昨年、英国で顧客ニーズを重視した料金メニューを提示しながら、経営破綻した大手新電力がある。この会社は、顧客ニ



澤部 まどか  
さわべ・まどか 2009年度入所、専門は規制の経済学・産業組織論。博士(商学)

電力中央研究所 社会経済研究所  
主任研究員

るタイミングを知らず、他社へのスイッチングが増え、最終的に料金メニューもあは小売事業者の経営が厳しくなる。すなわち、市場連動型料金メニューを提示する場合であっても、先物市場などを活用して適切なリスク管理を行い、料金への転嫁を一定程度抑制する対策が本来は必要

# 市場連動型など評価も 環境変化の対応が鍵に

【英国の小売電気料金の動向と課題】  
昨今の燃料価格高騰により、英国の小売電気料金は自由化開始以

【顧客ニーズを重視

市場連動型料金メニ

【求められる料金メ

【求められる料金メ

## ゼミナール

### 事業経営

来の上昇を続けている。契約変更をしない一般家庭に適用される標準料金は、上限規制が適用されているが、2022年4月時点で20年同月と比較して約80%増と大きく上昇している。図。

現下の英国の小売事業の喫緊の課題は電気料金の安定と低下であるが、一方で再生可能エネルギーの活用やデジタル化を背景とした市場環境の変化に対応した料金メニューの創出は引き続き課題となっている。

市場連動型料金市場として電気料金水準の透明性と選択の簡素化を重視し、卸電力市場価格に連動する料金メニューのみを提供し、他の顧客ニーズ(料金安定性)がより重要な場合、顧客の離脱の影響を大きく受ける。つまりリスク管理の観点からは、市場環境の変化も見据えた料金メニューのポートフォリオを組むことが重要と言える。

また、透明性の確保という特定の顧客ニーズのみを重視すると、市場環境の変化によつて、多くの顧客から定評があった一方で、経営の安定性の観点からは、リスク管理が特に重要な料金メニューであるにもかかわらず、不十分な対策であったことが指摘されている。